

- ・議題は、令和7（2025）年を見据えた地域医療構想についてであるもの。
- ・報告は、令和8（2026）年以降の新たな地域医療構想の策定についてであるもの。

1 議題の概要

- (1) 地域医療構想における具体的対応方針について（資料1-1～資料1-3）

団塊の世代が75歳以上となる令和7（2025）年を見据え、病床機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとの必要病床数等を比較するもの。
詳細は、資料1-1のとおり。
「病院及び有床診療所における具体的対応方針」については、令和5年度までに策定済みであり、毎年度報告を受け、資料1-2のとおりとりまとめを行ったもの。
報告を受けた「病院及び有床診療所における具体的対応方針」は資料1-3のとおり。
- (2) 病床機能報告の結果について（資料2）

各医療機関から県に対し、現在の病床機能と今後の方向性等を「病床機能報告」により報告されているもの。
令和6年度の病床機能報告の結果については、令和7年度5月8日（木）に岩手県ホームページにおいて公表。
公表された病床機能報告から宮古圏域の令和6年度の病床数の状況と令和7年度の病床数の見込を抜粋したものは資料2のとおり。
- (3) 宮古保健医療圏における岩手県保健医療計画の進捗評価について（資料3）

岩手県保健医療計画（2024-2029）について、各圏域において毎年度、評価・検証を行うこととなっているもの。
宮古保健医療圏の取組状況等については、資料3のとおり。
重点事項は、「医療体制づくり」、「からだの健康づくり」、「こころの健康づくり」の3本としているもの。

2 報告事項

- 新たな地域医療構想の策定・保健医療計画の中間見直しについて（資料4）
資料4は、主に令和8（2026）年からの新たな地域医療構想等についての国の動向等について報告するもの。